

地域人材ネット

「他出子調査」を軸とした「T型集落点検」を用いた、地域やイエの具体的な担い手を確保する活動

徳野貞雄

(

とくのさだお

)

一般社団法人 トクノスクール・農村研究所（熊本大学名誉教授）
代表理事



○ 登録者情報

所在地

福岡県遠賀郡岡垣町

略歴

農村社会学者として、様々な地域活動に関与しています。旧くは『道の駅』の発案・命名者でもあり、現在も指導しています。また、『グリーンツーリズム』の日本への導入者としても知られています。建設省(国土省)の地域振興アドバイザーなども、長年続けてきました。○近年では、「T型集落点検」や「他出子調査」(関係人口論の骨格的人材の把握法)という手法をもって、過疎地の家族や集落の維持システムを各地で展開しています。2015年以降では、長崎県東彼杵町、島根県飯南町、熊本県山都町・御船町、大分県中津江市耶馬溪町などで地域づくり計画の一環として、自治体から委託を受けてきました。なお、熊本県御船町・山都町では、2016年に発生した熊本地震の震災復興の基本計画として「T型集落点検」を用い、復興支援の具体的担い手を析出しました。○2011年から2018年間にいった、熊本県多良木町槻木集落の「世帯まるごと定住型」の集落支援員システムの構築は、休校中の小学校を再開させ、過疎地存続のモデルとして、国会議員のみならずドイツや韓国からの視察も絶えず、大きく社会から評価されました。○近年急速に進む「食と農」の変化に対し、【何を食べるか】ではなく、【誰と食べるか、どのように食べるか】という、「食べ事論」を中心に考える研究会を設立し、トクノスクールの日常セミナーで展開しています。○現在、主に関係している自治体や地域は熊本県山都町、大分県中津市耶馬溪町、福岡県三潁郡大木町や鹿児島県の種子島です。

著書・論文等

『山都町移住者実態調査委託事業報告書』2020年 熊本県上益城郡山都町
『食べ事拮命』(共著) 2019年 優輝デザイン
『新しい小農』(共著) 2019年 小農学会
『大学的熊本ガイド』(共著)2017年 昭和堂
『暮らしの視点からの地方再生』2016年 九州大学出版会
『家族・集落・女性の底力』2014 農文協
『生活農業論』2011年 学文社

○ 「他出子調査」を軸とした「T型集落点検」を用いた、地域やイエの具体的な担い手を確保する活動

取組の内容

過疎対策では、「若者は出て行った」と嘆いているが、その若者が10年後、30年後にどのような行動を起こしているかはほとんど知られていません。18歳を軸に他出した若者は時間と歳と共に、Oターン・Uターン・Jターンによって広域的地元(近隣市町村や県庁所在地)に帰ってきています。Oターンとは、都会に出て行った後、実家に帰ってくることです(10%)。Uターンは、実家ではなく、近隣の町に帰ってきますが別居です(35%)。Jターンは、近接の県庁所在地などの都市に帰ってきます(30%)。他出した子供達は、1時間から2時間以内の所に住んでおり、携帯電話と自動車によって、実家の暮らしをサポートしています。現実に過疎農山村の子供達の居住実態は、()内に示した数字であり、75%近くが、大都市部からUターンし親の生活や地域活動を応援しているのが長年の調査から判明しています。この実態や作業を地域住民と共に共同で確認し、誰が一番頼りになるかなどを地域政策として、具体的に確定して作業が「T型集落点検」です。なお、地域社会の活動空間を自治体の範囲を超えて考えている所にも特徴があります。



東彼杵町での「T型集落点検」



耶馬溪町での「T型集落点検」

実績

2018年度に行った、大分県耶馬溪町樋山路集落での「T型集落点検」では、全世帯の他出子の行き先を住民が確認し、近隣に7割近くがいることが判明しました。そのことをベースに、樋山路の「安心安全プロジェクト」や祭礼への参加の呼びかけを行い、具体的な担い手の展望性を確保しつつあります。また、熊本県多良木町槻木では、休校した小学校の再開校を促し、他出子の帰郷等により50歳以下の住民を0人から9人まで増加させました。

工夫した点や苦労した点

他出した人々の時間的経過に則した移動経路を確定していくことが、非常に難しかったです。行政データでは全くこの実態は把握されていないので、1から作る必要がありました。このことの意味の重要性を、行政職員などに理解してもらうことに最も苦労しました。防災事業などに絡め、被災後、誰を具体的に頼るかなどの事業と連携させる形で集落での「T型集落点検」をモデル的に実施しました。このモデルを、増やすことによってエビデンスを形成してきました。

ひとことPR

移住・定住政策のIターンも重要であるが、「T型集落点検」的なUターン政策の方が現実の地域維持政策にとっては有効性が顕著であることが分かり始めました。住民台帳の転入者を調べてみると、量的にもIターン者よりもUターン者の方が圧倒的に多いです。また役割や機能などもIターンとUターンでは、かなりの格差があるようです。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
○ 地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	○ 効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

一般社団法人 トクノスクール・農村研究所	https://tschool-ruralstudy.iimdofree.com/
トクノスクール in 福岡	https://ja-jp.facebook.com/TokunoSchoolInFukuoka

連絡先

メールアドレス	tokunoschool〔アットマーク〕gmail.com		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。